

一般質問通告内容

(令和6年定例会6月会議)

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
1	西田 祐子 (議席番号 12番)	1. 若者が住みたいと思えるまちづくりについて (1) 10年間の町内在住の高校・大学卒業者の町内への就業状況 (2) 10年間の町内在住の18歳から40歳までの女性の状況 (3) 大学・専門学校生への通学費助成の状況 答弁を求める者 町 長
		2. 大町・東町商店街の活性化について (1) 空き店舗や廃屋となった店舗の状況について (2) 店舗の家賃の現状について (3) 土日祝祭日に観光客が利用できる店舗の現状について (4) ビジネスや一般観光客用の宿泊施設の現状について 答弁を求める者 町 長
		3. 創立50周年を迎える高齢者大学の運営について (1) 定例講座の内容と課題 (2) クラブ活動の講師謝礼金と講師の欠員について (3) 高齢者大学創立50周年を迎えて町としての考え 答弁を求める者 教育長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
2	前田 博之 (議席番号 9番)	1. 教育振興について (1) 大塩町長の教育公約・政策と白老町学校教育基本計画、社会教育中期計画との整合性について (2) インクルーシブ教育の意義と「同教育システムを構築し」とあるが、構築の概要と取組状況及びスケジュールについて (3) 読書と学力の関係性及び読書活動について (4) 町立図書館床傾斜（不同沈下）の状況と影響及び対応と施設改善措置並びに町立図書館の将来像について (5) 児童生徒の学力を実現する白老町スタンダードを導入した経緯と目標達成状況並びに課題と改善点及び今後の取組と方向性について (6) 全国学力調査結果について ① 令和6年度調査結果の速報値について ② 令和5年度調査結果の概評と正答率の傾向並びに結果の活用について ③ 中学校英語の調査結果の分析と活用及び小中学校の外国語教育の在り方について (7) 標準学力調査結果と検証及び基礎学力の傾向と対策について (8) 子供たちの興味・関心に応じた任意の検定試験の内容と公費助成及び実施状況と成果並びに各学校における検定試験の状況について (9) 白老小中一貫型教育、小中連携教育とコミュニティ・スクールのこれまでの取組と活動並びに成果と課題について (10) 町立小学校適正規模適正配置基本計画の概要と実施計画策定の進捗状況及び策定期間と適正配置目標時期について

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
2	前田 博之 (議席番号 9 番)	(11) 小中一貫義務教育学校の考えと適正規模適正配置基本計画・実施計画との整合について 答弁を求める者 教育長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
2	前田 博之 (議席番号 9番)	2. 地域公共交通について (1) 地域循環バス（元気号）、デマンドバス（カムイ号）、交流促進バス（ぐるぽん）の業務委託先と運行業務委託料（町支払額）及び運賃収入について (2) 運行業務委託料以外に要する運行費用と内訳について (3) 各バスの保有台数と令和5・6年度の運行便数及び一日当たりの乗車人数並びに1台当たりの乗車人数と乗車率について (4) 福祉有償運送の事業所数と経営実態及び所有台数並びに利用者数について (5) 地域循環バス（元気号）、デマンドバス（カムイ号）、交流促進バス（ぐるぽん）における経路、停留所、ダイヤ、乗降利便性等での主要要望・意見・苦情等の内容と処理対応及び課題等について (6) 令和6年度中策定予定の公共交通計画策定の目的と概要及び改善点並びに計画策定にあつて特筆すべき必須事項について (7) 白老町としてのこれからの地域交通の在り方と展望について 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
3	田上 治彦 (議席番号 2 番)	1. 町立病院の現状と課題について (1) 新病院長の医療及び経営理念と経営改善策について伺います。 (2) 町立病院の経営改善計画改定の進捗状況について伺います。 (3) 町立病院に理事職の配置を予定していたが、遅れている理由を伺います。 (4) 昨年の不適切な事務処理における、会計年度任用職員への過払給与の返還額調査の進捗状況について伺います。 (5) 地域包括ケア病床の現状と今後の課題及び再開について伺います。 (6) 町立病院内におけるボランティア活動の体制づくりと方向性について伺います。 (7) 町立病院での介護家族支援の短期入院いわゆるレスパイト入院の導入について伺います。 (8) 町立病院で行われている健康診断の利用状況について伺います。 (9) 入院患者へのご家族の面会状況について伺います。 (10) 令和7年5月の開院に向けた、経営改善及び職員の意識改革への具体的な取組と進め方について伺います。 答弁を求める者 町 長
		2. 感染症ワクチン接種費用について 令和5年度まで公費で受けられた新型コロナウイルスの予防接種が、現在は自費で受けることとなっているが、町独自で接種費用を助成する考えはあるか伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
4	森山 秀晃 (議席番号 7番)	1. 教育環境について (1) 小中学生の登下校の手段について伺います。 (2) 小中学校のクラス編成、教員配置について伺います。 答弁を求める者 教育長
		2. 子育て環境とまちづくりの現状と課題について (1) 子育て環境について ① 子育て世帯のコミュニティについて伺います。 ② 子供の交流の場について伺います。 (2) 子供たちの未来に向けたまちづくりについて ① E V (電気自動車) 充電器の設置状況について伺います。 ② 町有施設周辺の道路の整備状況について伺います。 ③ マイナンバーカードの利活用について伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
5	長谷川かおり (議席番号 4 番)	1. 子育て支援の環境整備について (1) 少子化対策における「こども未来戦略・加速化プラン」では、親が働いていなくても子供を保育園に預けることができる「こども誰でも通園制度」の取組が令和5年度から試行的に始まり、今後、全国展開することになっている。本町における取組内容の現状と課題について伺います。 ① 本町における保育所、認定こども園の利用児童数、入園率の推移について伺います。 ② 令和5年度に国のモデル事業として海の子保育園が実施しているが、取組内容と効果及び課題について伺います。 ③ 本町における「こども誰でも通園制度」の展望について見解を伺います。 (2) 発達障害の理解と安心して就学へつなげるために5歳児健診の導入の考えについて伺います。 ① 乳幼児健診や乳幼児相談の現状と課題及び支援体制について伺います。 ② 幼児期から学齢期までの特別な支援が必要な子供の人数の推移について伺います。 ③ 子供の発達障害の現状と課題及び相談支援体制について伺います。 ④ 5歳児健診の重要性の認識と実施に向けた検討状況について伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
5	長谷川かおり (議席番号 4 番)	2. 高齢者福祉施策について 認知症の人が安心して暮らし続けられる地域づくりを進めるための現状と課題について伺います。 (1) 後見人センターの現状と課題及び今後の展望について伺います。 (2) 市民後見人の役割と育成状況、課題について伺います。 (3) 独居高齢者の安否確認の現状と課題及び鍵預かりサービスの検討状況について伺います。 (4) 包括ケアシステムを支える地域づくりの現状と課題について伺います。 ① 介護人材不足の現状と町独自の対応策について見解を伺います。 ② チームオレンジの構築に向けた取組の進捗状況について伺います。 (5) 共生社会の実現に向け、認知症が正しく理解され、認知症の人の尊厳が保たれ、誰でも安心して暮らせるために「認知症条例」制定の考えについて見解を伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
6	前田 弘幹 (議席番号 6番)	1. 地域活性化事業について (1) 空き店舗等活用・創業支援事業について ① これまでの経過と実績について ② 募集要領の見直しや改正の考えについて ③ 助成を受けた物件での営業年数や物品の取扱い等、助成後の制約について ④ 今年度から宿泊業を対象から除外した理由 ⑤ 助成金交付要綱に「助成金を交付することが社会通念上不適切と判断される事業（法律に定める風俗営業等）を除く」とあるが、助成対象外とする業種とその理由 ⑥ 空き店舗に限らず、廃業予定の場所をそのまま事業承継し運営していく場合の補助制度の考え (2) 白老牛肉まつりについて ① 5年ぶりに開催された牛肉まつりの成果と課題 ② 行政として次回以降の支援の考え ③ 開催前に町民から沢山の待望論があったと思うが、実際に開催した後の町民の声はどうか ④ 農畜産業稼ぐ力向上支援事業の地域おこし協力隊は、今回の牛肉まつりにどのように関わったのか 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
6	前田 弘幹 (議席番号 6番)	2. 町の景観や安全安心で住みよい生活環境について (1) 大町商店街の歩道がデコボコで高齢者が歩きづらい、児童が乗る車輪の小さな自転車等の走行がしづらい、旅行者のキャリーケースが運びづらい等通行上の支障が多々見受けられるが、補修や修繕をどのように考えているか (2) 歩道の街路樹が成長し、自動車や自転車等の視界の妨げとなっている。交差点歩道脇の民地においても背の高い草木が同様に視界の妨げとなっているが、その対応策は (3) アスファルト歩道の亀裂や隆起、陥没等、ウォーキングやランニング時でも大変危険な場所があるが、補修や修繕をどのように考えているか (4) 近年、熊や鹿等多くの野生動物が町なかまで出没しているが、町民の安全を確保するため、歩道脇の草木除去及び歩道隣接空き地所有者への指導を強化する考えは 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
7	水口 光盛 (議席番号 1 番)	1. 小中学校の給食費の無償化について (1) 令和5年度に実施した3学期分(1～3月)の学校給食費の無償化の事業効果について伺います。 (2) 本年度に予算計上した4か月分(12～3月)の学校給食費の無償化の取組と期待される事業効果について伺います。 (3) 令和7年度以降に、給食費の完全無償化を実現するなど、大胆な政策に踏み切る考えはあるか伺います。 答弁を求める者 教育長
		2. 行財政運営について (1) 行政事務のミスや町職員の不祥事の防止に向けた再発防止対策の現状について伺います。 (2) 再発防止対策の規定や計画書等をつくることが目的にならないように、全職員をあげて再発防止対策を行う必要があると考えるが、見解を伺います。 (3) 再発防止対策後の職責ごとの職員研修、新任職員採用後の研修の体制について伺います。 (4) 外郭団体の事務局や経理等を役場や所管課の職員が取り扱うことが多いが、外郭団体には役員や監査が選任されていることから、帳簿等の確認や管理を外郭団体の役員や監査が責任を持つことがこれまで以上に必要と考えるが、見解を伺います。 (5) 再発防止対策を実効性のあるものにするため、町長のリーダーシップにより職員が一丸となり、事務のミスや不祥事を未然に防ぎ、町民の信頼回復に向けた姿勢を示すことが必要と考えるが、見解を伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
7	水口 光盛 (議席番号 1 番)	3. 増税している固定資産税について 過去の財政危機に際して、平成 21 年度より納税者（町民・企業・町外の所有者）にお願いしている固定資産税の超過税率（1.7%）を、標準税率（1.4%）に戻すことについて （1）町民が未来の白老町に希望を持ち、移住者にとっても魅力あるまちとなるよう、早急に標準税率に戻すことを検討すべきと考えるが、見解を伺います。 （2）固定資産税を標準税率に戻すことが不可能なら、町民が未来の白老町に希望が持てるような政策や事業に、超過税率の財源を積極的に投資し、「新たな未来への挑戦と前進」をするために、白老町のさらなる飛躍に向けた既存の計画や発想にとらわれない、斬新な思い切った政策を展開すべきと考えるが、見解を伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
8	飛島 宣親 (議席番号 5番)	1. 白老町の防災・減災について (1) 防災計画について ① 計画に掲げた各種項目の進捗状況について伺います。 ② 計画と乖離はないか、あるとすればその要因は何か伺います。 ③ 今後、計画を見直す考えはあるか伺います。 ④ 大規模停電等、災害時における牧場での水の確保、水産加工場の冷凍庫の電源確保等の対策をどう考えているか、またその対策を計画に盛り込む考えはあるか伺います。 (2) 防災訓練について ① 今年度の防災訓練の内容をどのように考えているか伺います。 ② 今年1月1日に発生した能登半島地震やこれまでの自然災害を教訓に、いつ何どき発生するか分からない災害を想定した大規模な防災訓練を実施する考えはあるか伺います。 ③ 一時避難所の環境整備をどのように捉えているか伺います。 ④ 災害対策には、自助・共助(近所)・公助の考え方があり、一時避難は共助であるご近所の助け合いがとても重要なことと考えます。そこで、地域の自主防災組織の設立状況や課題をどう捉えているか伺います。 (3) 減災対策について ① 地震・津波・大雨・地滑り・暴風・火山噴火・大雪などの減災対策の取組をどのように考えているか伺います。

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
8	飛島 宣親 (議席番号 5番)	② 津波等の災害発生時には、J R 室蘭本線の横断が支障になると考えるが、踏切のない線路を横断することは可能か伺います。 ③ 災害対策本部となる役場庁舎は大災害時に機能するのか伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
9	森 哲也 (議席番号 11番)	1. 未来を見据えた公共施設の在り方について (1) 非常用発電機が未設置の公共施設における今後の設置についての考えを伺います。 (2) 庁舎建設基本計画の策定状況について伺います。 (3) 旧社台小学校の利活用について ① 現高齢者大学校舎の移転後の方向性を伺います。 ② (仮称) 白老町文化スポーツ交流センターの改修見込み額及びライフサイクルコストの見込みについて伺います。 ③ 人口減少が予測される中、持続可能な施設運営をしていく上での方策を伺います。 答弁を求める者 町 長
		2. 鳥獣被害の現状及び対策について (1) エゾシカによる農業及び生活環境の被害状況と対応策について伺います。 (2) 白老町鳥獣被害対策実施隊について ① 物価高騰による隊員の負担軽減策について伺います。 ② 担い手の状況及び対応策について伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
10	貳又 聖規 (議席番号 10番)	1. 多文化共生のまちづくり (1) 町制施行70周年の記念事業について ① 7つの実施事業の進捗状況及び町が行うイベント共催などの冠事業の状況、その事業目的と効果について町の見解を伺います。 ② 多くの先人が築き上げた歴史や文化を受け継ぐ中で、アイヌ新法制定運動や国連での世界の先住民族との活動に尽力した故野村義一氏の功績を後世に引き継ぐことが重要であるが、町の考えを伺います。 (2) アイヌ民族の尊厳の保持と、文化・歴史の次世代への継承により、多文化共生が実現するまちについて ① アイヌ施策推進法（アイヌ新法）の施行から5年を迎える中で、アイヌ文化の理解促進・啓発普及に係る事業の評価と成果、課題について伺います。 ② 過去5年間ににおけるアイヌ政策推進交付金の評価と成果、今後の方向性について、町の考えを伺います。 ③ 国連教育科学文化機関（ユネスコ）はアイヌ語を消滅的危機言語としており、アイヌ新法の理念「アイヌの人々の民族としての誇りが尊重される社会の実現」には民族の魂ともいえるアイヌ語の復興が重要である。ナショナルセンターがある町として先頭となりウポポイとの連携等により、言語復興に取り組むべきと考えるが、国に対しての環境整備の要望の状況と白老町の担うべき役割をどのように捉えているか伺います。 ④ ハワイ州では消滅しつつあるハワイ語の言語復興対策として、1986年から幼児期から学べるハワイアン・イマージョンプログラムと呼ばれるハワイ語一貫教育プログラムを導入しており、現在では、若者同士がハワイ語で語り合える状況になっている。国や北海道との連携のもとイマージョンプログラム導入に向けた調査研究が必要と考えるが、町の見解を伺います。

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
1 0	貳又 聖規 (議席番号 1 0 番)	⑤ 白老町アイヌ施策推進地域計画では、「アイヌ民族の伝統及びアイヌ文化の担い手が不足しており、次世代への円滑な継承が喫緊の課題」とされ、次世代を担うアイヌ文化伝承者の人材育成のさらなる強化が求められている。 平取町や白糠町の地域計画には、町内外の学校で開催されるアイヌ語学習の講師派遣並びに中高生を対象とした海外先住民族の文化を学ぶ研修事業が盛り込まれている。 全国各地からアイヌ文化の伝承者が白老に移住する中、ウポポイで働く伝承者や職員に「次世代を担うアイヌ文化伝承者」のあるべき姿や理想の教育環境等の聞き取りを行うなど、人材育成施策への反映が望まれるが、町の考えを伺います。 ⑥ 木彫り熊の伝承者の現状と課題、技術伝承に向けた町の考えについて伺います。 (3) 多文化共生のまちを掲げる本町の地域性を踏まえて、外国文化と接する機会を児童や生徒に提供する国際交流員の配置について、先進地の東川町や白糠町の事例から導入に向けた町の見解を伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
1 0	貳又 聖規 (議席番号 10番)	2. 高齢者とひとり親家庭に優しいまちづくり (1) 高齢者に優しいまちづくり ① 本町における高齢者の孤独・孤立による現状と課題を伺います。 ② 国の孤独・孤立対策推進法が令和6年4月1日に施行されたことに伴う町の高齢者対策について伺います。 ③ 孤独死対策を取り入れた見守りネットワークの充実に向けた町の見解を伺います。 ④ 集落支援員の活動として、高齢者宅への戸別訪問による見守りや買い物などの生活支援並びに困りごとの把握による移動困難者の実態調査が重要であると考えているが、町の見解を伺います。 (2) ひとり親家庭に優しいまちづくり ① ひとり親は働き方が制限されるため、生活が困窮しやすい傾向にあるとされ、2019年に内閣府が公表したデータでは、日本における子供の貧困率は7人に1人、さらにひとり親世帯となると貧困率はおおよそ5割となっている。近年問題となっている経済的要因による子供の教育格差、体験格差の拡大により、貧困家庭の大学進学率、習い事やクラブ活動への参加率は低い傾向にあるとされているが、本町の現状と課題について伺います。 ② 白老町独自の支援制度について伺います。 ③ ひとり親への独自支援として、雨竜町ではごみ袋の減免措置を講じているが、本町の導入の可能性について、見解を伺います。 ④ ひとり親家庭等日常生活支援事業の導入について、町の見解を伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
1 1	広地 紀彰 (議席番号 13番)	1. 経済活性化・まちのにぎわい創出について (1) 第1次白老町商業観光振興計画に定めた6つの基本施策を中心とした成果や達成状況、第2次同計画の8つの方針に基づく重要業績指標などの進捗や課題を伺います。 (2) 駅北民間活力導入ゾーンや旧社台小学校、アヨロ鼻灯台など、町内誘客拠点の整備の現状や方向性、ウポポイを始めとしたその他既存観光資源の振興策や連携、発信の在り方を伺います。 (3) 食資源、観光資源の魅力発信や安定した気候を強みに変える仕組みづくりなど、今後のまちのにぎわい創出の考えを伺います。 答弁を求める者 町 長
		2. 町民生活を支えるインフラ整備について (1) 冠水対策や舗装補修、除排雪や強靱化対応を含めた道路整備に関する町民要望の現状と対応の考え方を伺います。 (2) 公営住宅について ① 整備や長寿命化の状況と今後の展開について伺います。 ② 維持補修や入居者の募集方法など、より町民要望に即した対応の在り方を伺います。 (3) 都市公園や拠点となる公園整備の在り方について伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
1 2	氏家 裕治 (議席番号 3 番)	1. 安心して住み続けられるまちづくりについて (1) 高齢者のワクチン接種の現状について ① コロナワクチン接種に対する制度改正後の町の支援策についての考えは ② 50 歳代から急激に増加し、80 歳までに約 3 人に一人が発症するとされている带状疱疹だが、ワクチン接種に対する町の支援策についての考えは (2) 町の環境維持活動について ① 民間や町内会で管理されている公園の持続的な維持管理に対する現状と課題は ② 町内会連合会では、町内会が行う地域の草刈り作業に対する燃料費の助成を行い地域の環境維持に努めているが、持続的な活動に対する現状と課題は (3) 津波対策について、避難場所・避難経路の確保と町民説明会に向けたタイムスケジュールは 答弁を求める者 町 長